

Title	京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 1
Author(s)	
Citation	京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 (1952), 1
Issue Date	1952-10-05
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/186884">http://hdl.handle.net/2433/186884</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

# 京都大学瀬戸臨実験所振興会

## 水族館月報

No. 1

1952. 9月(10月5日)

1952年9月1日現在水族館の水槽中にあるすべての  
魚類は引き続き、水族館に運営するために必要な家具(机、時計  
等)・工具・漁具等を裏手受ける資金として5万円、帳簿費その他  
のこまごまとしたものを取揃えるための費用として1万円、計  
6万円の借金を土台として水族館の経理は出発した。

幸い天候に恵まれて意外に多くの入場者があつたため、入場  
税を除外すると、僅かなから10月に繰り越す資金が残った。

### ◎ 入場者数

水族館で発売した切符数

大人 3377

小人 134

団体 5753

} 計 9264

明光バス発売切符数

大人 3682

小人 47

} 計 3729

} 計 13026人

交通公社発売切符数

33

無料入場者

約 150名

(保育園・明光従業員等)

① 観覧券売上金 219,537.00

② 支出

人件費 (給料・休日勤務手当・大工) -----	35,983.00
光熱費 (電力代)	6,322.00
消耗品 (張簿・掃陰具・電球等)	8,310.00
備品費 (家具・工具・漂具・自転車・名札)	37,515.00
修理費	30.00
材料費 (魚類飼料)	34,036.00
諸税公課 (自転車登記料)	280.00
雑費 (納税用紙・茶等)	141.00
旅費 (白浜 - 田辺)	620.00
積立金 (退職資金・ベースアップ資金 賞与資金、厚生資金)	13,900.00
契約金 (番所山熱帯植物園)	36,381.00

計 193,518.00

10月に繰越レ 26,019.00

番所山に対する契約金は

$(219,537.00 - 1,250.00) \times \frac{1}{6}$  として算出され、11月、12月50.00は明光バス株式会社に対する切符印刷費の1ヶ月分です。

③ 入場税 博物館協会対和歌山縣税務課の問題として解決

に努力して貰うように促す。しかし、振興会として

協会よりの指示により、最善の努力を竭さねばならぬ事は勿

論です。各位の御援助を願います。

◎ 業務分担

水槽管理・採集	浦・左海	} となっていますか 有無相通する相互 援助と鉄則として 全員仲よく頑張つて います。
モーター管理・清掃	近藤	
切符受取・清掃	南	
切符発売・経理事務	大平	

- ◎ 場所山熱帯植物園・明光バス・交通公社との有力契約の  
委員会席上で説明します。帳簿類・領収書はすべて整  
理保存されております。しかし、このに因る平日子供や釣  
天狗や漁師が売りに来た要込に対して領収所が苦しい  
事でこれは取扱者に責任をとらせる事とし、かつ奥妻  
日誌と記して居るのなご様にしています。

なお9月に人気を集めた奥は、ツノグシ、イトヒキアジ  
及びバモンガラカワハギでした。

時副室